

1. 研究課題名：
低炭素と経済活性化を両立する生活・行動様式と
地域環境デザイン方策の提案

2. 研究代表者氏名及び所属：
平野 勇二郎（(独)国立環境研究所）



3. 研究実施期間：平成 25～27 年度

4. 研究の趣旨・概要

低炭素社会を実現する上で、大量生産・大量消費社会における浪費型の生活・行動様式から低炭素型の生活・行動様式へ転換することが重要課題である。

本研究では、まず消費行動に伴うライフサイクル全体での CO₂ 排出量を明らかにし、低炭素と経済活性化を両立した生活・行動様式を提示する。次に地域における産業構造や人口構成、気候、土地利用などを踏まえて、低炭素型生活・行動様式を実現する都市・地域環境デザイン方策を提案する。

本研究の成果により、これまでは民生、運輸部門が中心であった低炭素都市・地域環境デザインにライフサイクル CO₂ 削減のメニューを導入することが可能となり、低炭素社会実現への貢献が期待される。

5. 研究項目及び実施体制

- (1) 低炭素型の生活・行動様式の評価と都市・地域デザイン
(独)国立環境研究所
- (2) 低炭素型経済システムを実現する企業経営と産業構造に関する研究
(横浜国立大学)
- (3) 低炭素型の地域計画と地域経済・社会動態への影響に関する研究
(名古屋大学)

6. 研究のイメージ

